

音楽の花束

Bouquet of Music

華麗なるデュオの世界

～ヴァイオリンとピアノ 4大名曲を聴く～



Program

シューベルト ピアノとヴァイオリンのためのソナタ イ長調D574	Violin 山縣郁音 Piano 野上真梨子
R.シュトラウス ヴァイオリンとピアノのためのソナタ 変ホ長調Op.18	Violin 川本桃子 Piano 中野洋子
ブラームス ピアノとヴァイオリンのためのソナタ 二短調Op.108	Violin 印田千裕 Piano 山本佳澄
フランク ヴァイオリンとピアノのためのソナタ イ長調	Violin 惠藤久美子 Piano 惠藤幸子

2026. 8/23 日

14:00開演(13:30開場)

勝田台文化センターホール

全席自由2,500円(賛助会員・高校生以下2,000円)

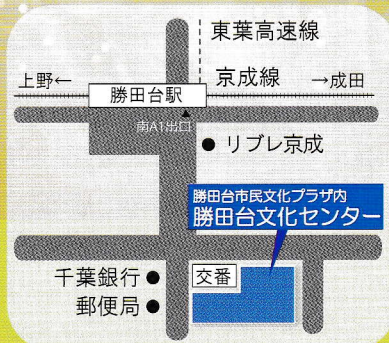
プレイガイド

八千代市地域振興財団チケットサービス
cnplayguide.com/ycp/▶

八千代市市民会館 ☎047-483-5111
八千代台文化センター ☎047-482-1833
勝田台文化センター ☎047-483-2141



未就学児の入場はご遠慮ください。



東葉高速線東葉勝田台駅・京成線勝田台駅南A1出口より徒歩5分
5月22日(金)よりチケット発売

IKUNE YAMAGATA 山縣郁音/ヴァイオリン

桐朋女子高等学校音楽科、同大学卒業。同研究科とオーケストラアカデミーを修了後、Talent Music Master(イタリア)にてディプロマ取得。全日本学生音楽コンクール東京大会入選、第7回ペーテン音楽コンクール大学生の部第1位、等受賞。イェナ交響楽団、N響団友オーケストラ等とソリストとして共演する。学生時代から室内楽に意欲的に取り組み、アルネアカルテット、京トリオとしてサントリーホール室内楽アカデミー修了。ザルツブルク=モーツァルト国際室内楽コンクールにて第3位を受賞。サントリーホールチェンバーミュージックガーデンやラフォルジュルネ、とやま室内楽フェスティバルなど多くの音楽祭に出演。これまでに恵藤久美子、堀正文、久保良治、漆原啓子、マークゴトーニ、各氏に師事。



MARIKO NOGAMI 野上真梨子/ピアノ

千葉県出身。第8回青少年ショパン国際ピアノコンクール(ポーランド)日本人初の第1位。第16回、第17回ショパン国際ピアノコンクール(ポーランド)ディプロマ。第5回野島稔・よこすかピアノコンクール第1位。アルトワール・シュナーベルコンクール(ドイツ)第2位。ロームミュージックファンデーション奨学生。これまでに、読売日本交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、九州交響楽団等多数のオーケストラと共演。また、日本各地やドイツ、ポーランドでリサイタルを開催。桐朋女子高等学校音楽科、桐朋学園大学音楽学部を共に首席で卒業。ベルリン芸術大学大学院修了、同大学で国家演奏家資格を取得。2021年度より桐朋学園大学音楽学部弦楽器部会嘱託演奏員。これまでに下田幸二、高橋多佳子、野島稔、ビョルン・レーマンの各氏に師事。



川本桃子/ヴァイオリン MOMOKO KAWAMOTO

桐朋学園大学音楽学部卒業。スイス・バーゼル音楽院にて修士課程を最優秀の成績で修了後、ソリスト・ディプロマ取得。1998～2007年に蓼科高原音楽祭に参加。大学2年次以降は参加した桐朋オーケストラの全公演で首席奏者を務めた。2010～2015年に現代音楽集団「アンサンブル・ボスヴィル」のツアーで首席奏者を務める。2014年にバーゼル交響楽団と共演。2014～2017年に師であるオペリアン氏と室内楽で共演。2021年より中野洋子氏とデュオリサイタルを定期開催。これまでにヴァイオリンを石井志都子、R. シュミット、A. オブレアン各氏に師事。室内楽を齋木隆、藤井一興、堤剛、A. ケルニャック、S. シモネスク、R. ローゼンフェルト各氏をはじめ多くの師に学び、副科作曲を森山智宏氏に師事。



中野洋子/ピアノ HIROKO NAKANO

桐朋学園大学を経てベルリン国立音楽大学を卒業。古典から現代まで幅広いプログラムで現在まで32回のピアノソロリサイタルを行う。2021年には「演奏活動50周年記念ピアノリサイタル～シューベルトを弾く～」を、2022年「モーツァルトと日本の作曲家たち～風・水・夢～」を、2024年「ふたつの星座は光りあう 古典派から現代曲へ」を開催。またその間、室内楽の演奏、現代曲の初演など、また恵藤久美子氏、石井志都子氏、川本桃子氏とヴァイオリンとのデュオリサイタルも回を重ねている。CD「中野洋子の世界 I～IV」をリリース。2017年まで長年にわたり、桐朋学園大学音楽学部において後進の指導にあたってきた。勝田台において主宰する音楽室コンサートは220回以上を教え、心を通わせる音楽の営みの場として、多くの音楽家・聴衆の熱い賛同を得ている。

CHIHIRO INDA 印田千裕/ヴァイオリン

2歳半よりスズキ・メソッドでヴァイオリンを始める。東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て、同大学卒業。英国王立音楽院演奏家ディプロマコース修了。ノヴォシビルスク・ヤングヴァイオリニスト国際コンクール・ジュニア部門第3位、マルシュナー国際コンクール第3位、万里の長城杯総合グランプリ、江藤俊哉ヴァイオリンコンクール第1位。2009年CHANEL Pygmalion Days コンサートシリーズ、NHK-FM名曲リサイタル、東京オペラシティ主催「B→C パッサハからコンテンポラリーへ」等に出演する他、オーケストラ客演首席、チェリストの弟・陽介とのデュオをはじめとする室内楽など幅広く演奏活動を行っている。



KASUMI YAMAMOTO 山本佳澄/ピアノ

東京芸術大学附属高校、東京芸術大学を経て、同大学院を修了。ハンガリー国立リスト音楽院に留学。第16回大曲新人音楽祭グランプリ、第25回ヌエバ・アクロポリス国際ピアノコンクール第3位。在学中に、芸大フィルハーモニー、芸大学生オーケストラと共演の他、N響メンバーによる合奏団、東京フィルハーモニー交響楽団、アンサンブル金沢と共演。ヴァイオリニスト篠崎史紀氏の人気ラジオ番組、NHK-FM『まるのSP日記』にゲスト出演。また、東儀秀樹氏との共演や、落語家の春風亭昇太氏、桂米助(ヨネスケ)氏とのジャンルを超えたコラボレーションなど、幅広く活動している。2022年より、ヴァイオリニストの印田千裕氏と演奏会シリーズ<ソナタを巡る旅路>をスタート。現在、共立女子大学非常勤講師。これまでに、ピアノを大澤多美子、田代慎之介、渡辺健二、ケメネシュ・アンドラーシュの各氏に師事。



恵藤久美子/ヴァイオリン KUMIKO ETO

1971年桐朋学園大学音楽学部卒業。ヴァイオリンを鷺見三郎、鷺見健彰、海野義雄氏に、室内楽を黒沼敏夫、齋藤秀雄氏に師事。第41回日本音楽コンクール第2位入賞。72年、兄・堤剛と「二重奏の夕べ」(東京・カナダのオンタリオ)、2004年、06年、08年中野洋子氏と「デュオ・コンサート」、03年より毎年12月に深澤亮子、安田謙一郎氏と「ピアノ、ヴァイオリン、チェロの夕べ」を開催。

東京フィルハーモニー交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、札幌交響楽団、山形交響楽団と共演。桐朋学園オーケストラなどアマチュア・オーケストラとの共演も多数。75年より10年間、桐五重奏団の第2ヴァイオリン、80年より2年間山形交響楽団の客演コンサートミストレス、現在アンサンブル・アルス・ノヴァのコンサートミストレスを務める。桐朋学園子供のための音楽教室・仙川教室弦楽科主任補佐。桐朋学園大学音楽学部特任教授。日本音楽舞踊会議員。日本音楽コンクール、全日本学生音楽コンクールの審査を務める。



恵藤幸子/ピアノ SACHIKO ETO

桐朋女子高等学校音楽科(男女共学)、桐朋学園大学、桐朋学園大学院大学修了。モスクワ音楽院の研究科を修了。エリソ・ヴィルセラーゼ女史に師事。2012年第14回日本演奏家コンクール1位、併せてファツィオリ賞を受賞。2015年第16回マリア・ユーディナ国際コンクール第1位(ロシア)、第14回モスクワ国際フェスティバルコンクール第1位(ロシア)、第7回トレヴィーゾ国際ピアノコンクール第2位(イタリア)。2016年第2回スカララッティピアノ国際コンクール第3位、併せてスカララッティのソナタにて最も優れた演奏をした者に贈られる、スカララッティ賞を受賞(イタリア)。2017年マドリッド国際音楽コンクール第1位(スペイン)。

キルギスにてビシュケク市交響楽団、キルギス国立音楽院交響楽団、イタリアにてバカウ国立ミハイロ・ジョラフィルハーモニー交響楽団との共演など、ロシア、イタリアを中心に幅広く演奏活動を行う。2019年2月に浜離宮朝日ホールで行われたリサイタルが、公益社団法人日本演奏家連盟/増山美知子奨励ニューアーティストシリーズに抜擢され、各紙にて好評を博した。公式サイト <https://sachiko-sato.com>